

令和2年度 第3回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和3年1月19日（火） 午前10時30分から午前11時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階 講座室1・2

3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 五十嵐 裕子 委員
- ⑤ 井上 直也 委員
- ⑥ 岡崎 滋 委員
- ⑦ 桑原 静 委員
- ⑧ 難波 陽子 委員
- ⑨ 平田 利雄 委員
- ⑩ 山崎 秀雄 委員

〈各連携施設職員：5名〉

- ① うらわ美術館職員 1名
- ② 博物館職員 1名
- ③ 大宮西部図書館職員 2名
- ④ 青少年宇宙科学館職員 1名

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|-------|
| ① 館長 | 吉田 治士 |
| ② 参事兼副館長 | 中村 和哉 |
| ③ 参与 | 野崎 隆史 |
| ④ 主幹兼事業・企画係長 | 有江 良修 |
| ⑤ 事業・企画係主査 | 榎 進吾 |
| ⑥ 社会教育指導員 | 伊藤 紀子 |
| ⑦ 社会教育指導員 | 渡邊 京子 |

4 欠席者：1名

寺田 道子 委員

5 協議事項

(1) 令和3年度さいたま市民大学各コース(案)について

6 配布資料

事前配布資料

(1) 協議事項(1) 令和3年度さいたま市民大学(案)について 【資料1】

(2) 協議事項(1) 令和3年度各コース案 【資料2】

(3) 令和2年度第2回さいたま市民大学運営委員会議事録(案)

当日配布資料

(1) 令和2年度第3回さいたま市民大学運営委員会次第

(2) 令和2年度第3回さいたま市民大学運営委員会席次表

(3) 令和2年度実施予定について 【資料3】

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 協議内容

会議冒頭、神保委員長より、前回の運営委員会の議事録内容の承諾確認がなされた。続いて、協議事項(1) 令和3年度さいたま市民大学各コース(案)について、【資料1】、【資料2】に基づき、生涯学習総合センター及び各施設より説明後、協議事項を検討。

五十嵐委員	「教養Iコース」について、前回から期間を経てくると、Withコロナではないという話がでてきている。Withコロナではなく他の言い方にしたほうがいいのでは。
神保委員長	広報を出すタイミング等はどうか。
榎事業・企画係主査	募集案内の作成は3月下旬を予定しているが、もしこれはというものがあれば、この場で御提案いただけるとありがたい。
神保委員長	Withコロナの名称について、何かこれというのがあればと思うが、なければ最終的な名称はその時の状況を踏まえながら事務局に預けるといって、他にいい名称案はあるか。
桑原委員	Withをとった方がいい。Withは賛否があり嫌がる人はすごく嫌がるので、ただのコロナでいいのではないか。
神保委員長	桑原委員の意見を含め、おまかせするという形で。
岡崎委員	2点確認したい。1点目は「教養Iコース」について、前回の運

	<p>営委員会では「コロナ×テクノロジー医療」という言葉があったが、医療、感染症という観点からも楽しみにしていたが、その設定はきつかったのか。2点目はオンライン形式について、「教養Ⅰコース」、「教養Ⅱコース」は、今年度の当初の定員が90人であったが、50人と半減に近い。感染対策等でやむを得ないと思うが、「ビジネスコース」と同様、座学とオンライン形式のハイブリッド型のような手だてはないか。</p>
<p>榎事業・企画 係主査</p>	<p>1点目の「テクノロジー×医療」のところだが、「教養Ⅱコース」で想定していた「地域」を、コロナと関係があるということで、「教養Ⅰコース」に組み込んだ。構成全体のコンセプトとして、「教養Ⅰコース」はコロナと現在の暮らし、「教養Ⅱコース」はコロナと切り離して、大きく変わるであろう世の中に対して、これからの生き方を心豊かにするヒントということで、あえてコロナ色を消した。現在コロナ禍で、開催中止のリスクを軽減しようということで回数を3回にした結果、「医療」については、いくつか候補案も検討したが、企画に至らなかった。2点目の「教養コース」のオンライン化について、「ビジネスコース」は、講師と調整の結果オンライン化ができる見込みであるが、「教養コース」については、各講師と交渉の過程で対面型を想定した。今後に向けてのスケジュールが迫っており、今後の課題としたい。</p>
<p>神保委員長</p>	<p>オンライン化は手間かかるので、できる限りでいいのでは。岡崎委員の拾いあげたい気持ちもよく分かる。「ビジネスコース」はオンラインが向いているが、「教養コース」は難しさもある。「ビジネススキルⅠコース」「ビジネススキルⅡコース」「ビジネスパーソンコース」についてはいかがか。</p>
<p>岡崎委員</p>	<p>前回も確認したが、「ビジネススキルコース」で、講師の肩書きがすべて中小企業診断士と記載されている。資格というより肩書きをお聞かせ願いたい。何の方面の専門家なのか興味があり、具体例で聞かせていただければ。</p>
<p>榎事業・企画 係主査</p>	<p>今回の「ビジネススキルコース」の講師の選定にあたっては、コンサルティング会社にご協力をいただいて、中小企業診断士の資格を持っているという前提で講師を選定した。いただいた御意見を反映することで、受講者が興味を持っていただけるのではないかと考えているので、相手方と連絡をとり、コースの演題に沿った肩書き等があれば併記するよう調整する。</p>
<p>難波委員</p>	<p>「ビジネススキルコース」は座学とオンラインリアルということだが、座学は会場に来ていることが分かるが、オンラインで受講しているかどうかを、どう拾い上げるのか。</p>
<p>榎事業・企画</p>	<p>オンライン講座の受講者の確認については、今年度の「暮らしと</p>

係主査	<p>お金コース」は、当初の座学から切り換え、Z o o mで講座を行っているが、受講者になるべく本名で参加いただくなどして、出席を取っている。「ビジネススキルコース」が、Z o o mによりリアルタイムで行うか、Y o u T u b eで配信するのかは検討中。Z o o mであれば、出席を取ることができる。Y o u T u b eの場合は、今年度の「音楽コース」では、Z o o mのライブ配信に加えて、Y o u T u b eライブのライブ視聴プラスオンデマンド視聴を行っている。Y o u T u b eライブは、チャット機能があるので、そこに名前を入力してもらうようお願いしている。チャット機能が難しく使えないという方は、後日視聴したことをメールで知らせいただくようお願いしている。アンケートによる出席の確認も考えたが、それぞれ出席を数えるようなやり方を現状で考えている。</p>
桑原委員	<p>「ビジネスパーソンコース」の演題で、1回目は内容がわかる演題だが、2回目から5回目については、演題で内容がわかるような工夫があると応募者の気を引くのではないか。</p>
神保委員長	<p>これは間に合う限りの調整でお願いします。</p>
井上委員	<p>来年度の予定に関して特に変更を求めるものではないが、「科学コース」のテーマについて、宇宙の部分は分かるが、「科学を学ぼう」という部分に該当するような内容は含まれているのか。</p>
青少年宇宙科学館	<p>科学の面に関しては、プラネタリウムのドームにL E Dが設置されている。L E Dを活用して、惑星の色の光、星の色の関係を色の仕組みと踏まえ、科学と交えながら、解説を行っていく予定。</p>
井上委員	<p>科学とテクノロジーという形でくくると、テクノロジーに関しては適当なものが適度に散見されているが、サイエンスの部分が薄いかなと感じている。科学の分野については、年齢が低い方、対象、人数、実技、プレゼンテーションなど、重要なものを含めているので少ないのは分かるが、もう少し広い年代、かつ多くの対象に向けた企画というのが含まれても、分野のバランスからいいのでは。</p>
神保委員長	<p>今後の検討課題ということで。</p>
平田委員	<p>今の関連になると思うが、一般的にはサイエンスショーというと、テレビでやっているようなサイエンスショーを想起してしまい、けむりが出てくるようなイメージがある。「スペースサイエンスショー」に絞り込んだ方が、応募される方にもいいのでは。</p>
神保委員長	<p>井上委員の定義の部分を含めての分野の一つだと思うが、サイエンスショーというとかかなり広義のとらえ方等になるので、スペースサイエンスショーという話か。</p>
青少年宇宙科学館	<p>今回、宇宙を中心としたショーになるので、スペースの部分できるだけ伝えられるようにしたい。</p>
安藤副委員長	<p>それぞれのところで企画をしているので、それぞれで考えていた</p>

	<p>できればと思うが、オンラインやオンデマンドのところで、次年度以降、工夫するようなことができないかなというのが感想。「美術コース」は、1回で終わらせるのはもったいないので、さいたま市民大学の文字も入れながら、美術館でオンデマンドのような形で実施することはできないだろうか。</p>
うらわ美術館	<p>当館の主催事業について、オンラインで楽しめるコンテンツを発信しているので、そのノウハウを市民大学の方へ生かすという考え方もできるが、今回の講座に関しては、いわゆる、ここだけの話や裏舞台の話などを予定しており、今回はそこをうまくアピールしていきたい。</p>
青木委員	<p>全般について、専門性が高いところは座学にこだわって実施ということだが、コロナの状況が見えない中で、こういった場合に中止になるか、受講者に事前に連絡をすとか、事前の開催の可否について検討したほうがよいのでは。</p>
楨事業・企画係主査	<p>今年度、コースの中止や変更が決定した場合は、速やかに受講者へ電話等で連絡した結果、大きなトラブル等は発生しなかった。施設の休館に伴う場合や、休館明けの状況が読めず事業の継続が困難と判断した場合もあり、判断が難しいところでもある。状況を見極めながら、できる限り市民へ学習機会を提供できるよう今後も努めてまいりたい。</p>
神保委員長	<p>特になければこれで進め、細かい修正、調整は事務局にお任せするということで決めさせていただきたい。</p>

1 0

その他

令和2年度さいたま市民大学実施報告・予定について、【資料3】に基づき、生涯学習総合センターより説明の後、閉会。

1 1 閉会